

人間環境大学松山看護学部看護学科教育課程および履修方法に関する規程

(準拠)

第1条 この規程は、人間環境大学学則（以下「学則」という）第28条および29条の規定に基づき教育課程および履修方法について定める。

(配当年次)

第2条 授業科目の配当年次については、別表（教育課程表）に定める。

2 授業科目は、以下の科目に区分する。

- (1) 基礎科目
- (2) 専門基礎科目
- (3) 専門科目

3 各学年において履修する授業科目は、配当学年内に履修することができる。

4 上級学年の者は、下級学年に配当されている授業科目を履修することができる。但し、特別な場合を除いて、下級学年の者が上級学年配当の科目を履修することはできない。

(卒業要件)

第3条 松山看護学部を卒業するためには、前条に定める科目群から次に示す必要単位数を含め130単位以上を修得しなければならない。

- (1) 基礎科目 22 単位以上 (必修 16 単位+選択 6 単位)
- (2) 専門基礎科目 27 単位以上 (必修 27 単位)
- (3) 専門科目 56 単位以上 (必修 56 単位)
- (4) 専門科目 (臨地実習) 23 単位以上 (必修 23 単位)
- (5) 全ての選択科目(基礎科目以外の選択科目) 2 単位以上

(履修登録および登録の上限)

第4条 学生は履修すべき授業科目について、指定の期日までに履修登録を行わなければならない。

2 履修登録は、やむを得ない場合を除いて本学WEBポータルサイトによって行うものとする。

3 登録期間以降の登録およびその変更は、原則として認めない。

4 既に単位を修得した授業科目および授業時間が重複する授業科目は、履修登録することができない。

5 履修登録のされていない授業科目については、単位修得を認めない。

6 各年度の履修登録単位数の上限は学習効果を高めるために年間の標準的な履修単位の上限を47単位とし、上限の変更については、別途定める（CAP制）。

(資格コースおよび選択強化プログラム等の履修と学生定員数)

第5条 看護師国家試験受験資格を目的とする看護師基本コースに加え、各選択強化プログラム（小児看護、がん看護、認知症看護、在宅・終末期看護）および保健師コースを履修選択する場合、履修要件と定員数に制限がある。

2 各選択強化プログラムおよび保健師コースの履修要件、定員、選抜時期については別に定める。

(単位認定)

第6条 単位の認定は、平素の勉学状態、出席状態、試験・報告書および論文などの成績を総合的に判定して行う。

2 次の各号に該当する場合は、当該科目の単位認定は行わない。

(1) すべての科目において、出席時数が所定の授業実施時間の3分の2に満たない場合。

ただし、臨地実習科目は、出席時数が所定の実習時数の5分の4に満たない場合

(2) 正当な理由がなく試験を受験しなかった場合

(3) レポート等を定められた期限までに提出しなかった場合

(授業の運営)

第7条 学則に基づき松山看護学部の授業の運営および実施に関する詳細は、別途定める。

(既修得単位の認定)

第8条 既修得単位の認定については、別途規程に定める。

(成績評価)

第9条 学則第34条に定める成績は、下記の評価基準により認定する。

評価点等	評語	可否等	評価基準
100～90点	S	合格	学習目標をほぼ完全に達成している (Excellent)
89～80点	A		学習目標を相応に達成している (Very Good)
79～70点	B		学習目標を相応に達成しているが不十分な点がある (Good)
69～60点	C		学習目標の最低限は満たしている (Pass)
60点未満	D	不合格	学習目標の最低限を満たしていない (Failure)

2 学則以外に定める評価は、下記の基準により実施する。

評価点等	評語	可否等	点数
試験欠席	E	不合格	試験不受験、課題未提出により成績評価要件を満たしていない (Withdrawal)
授業放棄	F		出席不足等により成績評価要件を満たしていない (Withdrawal)
認定	N	認定	本学以外で修得したもので本学が単位認定したもの (Credit given under Credit provision)

(総合成績評価)

第10条 前条の成績の評価に対して次の各号に掲げるグレード・ポイント(以下「GP」という)を設定し、不合格の授業科目を含めて、履修科目のグレード・ポイントの平均(グレード・ポイント・アベレージ(以下「GPA」という))を算出し、総合成績評価を行う。

評語	GP
S	4.0
A	3.0
B	2.0
C	1.0
D	0
E	0

F	0
N	対象外

2 GPA を算出する基準は、次のとおりとする。

$$\text{GPA} = \frac{\text{(授業科目で得た GP} \times \text{その授業科目の単位数) の総和}}{\text{履修登録した授業科目の単位数の総和}}$$

3 成績証明書には、GPA は明記しない。

4 GPA 対象外授業科目は、次のとおりとする。

- (1) 成績の評価点が認定となる科目
- (2) 定められた期間に履修取り消しの手続きをした科目
- (3) その他、卒業要件に算入されない科目

(追試験)

第 11 条 病気、就職試験、その他やむを得ない事由のため期末試験に欠席した者は、追試験願（様式 1）とその事由を証明する書類（医者の診断書、事故又は遅延証明書等）を提出し、認められれば追試験を受けることができる。但し、追試験手数料として別に定める金額を納入しなければならない。

2 前項に定めるその他やむを得ない事由およびその他追試験に関することは、試験内規に定めるとおりとする。

(再試験)

第 12 条 期末試験不合格者は、再試験願（様式 2）を提出し、認められれば再試験を受けることができる。但し、再試験手数料として別に定める金額を納入しなければならない。

2 その他再試験に関することは、試験内規に定めるとおりとする。

(試験での不正行為)

第 13 条 不正行為とは、その本分に違反して受験した者およびさせた者の行為が次の各号に該当する場合をいう。

- (1) 解答用紙へ故意に虚偽の記入（解答用紙に本人以外の名前・学籍番号を記入するなど。）をすること。
- (2) カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- (3) 他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをすること。
- (4) 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- (5) 開始の指示の前に、問題を見たり、解答を始めること。
- (6) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、IC レコーダー等の電子機器類を使用すること（試験担当者から使用許可があった場合を除く）。
- (7) 試験時間中に、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること（試験担当者から使用許可があった場合を除く）。
- (8) 終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり、解答を続けること。
- (9) その他前各号に準ずる行為

2 試験等において不正行為をした者若しくは不正行為があったと認められた者に対しては、その学期の科目をすべて不合格とし、懲戒などの処分を科す場合がある。

(追実習、再実習)

第 14 条 追実習は試験内規第 6 条第 1 項に定める追試験の受験資格者のみ認める。

2 再実習は行わない。

(看護師国家試験受験資格)

第 15 条 卒業の認定を受ける松山看護学部看護学科の学生が保健師助産師看護師法(昭和 23 年法律第 203 号)第 18 条に基づき、同法施行規則に定める所定の科目を履修し、所定の単位を修得したときには、看護師国家試験受験資格を有することができる。

(保健師国家試験受験資格)

第 16 条 卒業の認定を受ける松山看護学部看護学科の学生が保健師助産師看護師法(昭和 23 年法律第 203 号)第 18 条に基づき、同法施行規則に定める所定の科目を履修し、所定の単位を修得したときには、保健師国家試験受験資格を有することができる。

(規程の改廃)

第 17 条 この規程の改廃は、松山看護学部教授会の議を経て、学長が決定する。

附則 この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附則 この規程(改正)は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

別表(教育課程表)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	期間	単位数		備考
				必修	選択	
基礎科目	専門学修の基礎	基礎ゼミナール	1	前期	2	
		人間環境学	1	前期	2	
		医療キャリアの基礎	1	前期	1	
	コミュニケーションの基礎	英語Ⅰ(読解)	1	前期	2	
		英語Ⅱ(表現活用)	1	後期	2	
		英語Ⅲ(専門基礎)	1	前期		1
		英語Ⅳ(専門応用)	1	後期		1
		コンピュータ基礎・情報処理法	1	前期	1	
	人間と生活の理解	日本国憲法	1	前期	2	
		愛媛を学ぶ	1	前期		2
		人間関係論	1	後期	1	
		教育心理学	1	前期		2
		フィットネススポーツ	1	前期		1
		体育実技	1	後期		1
		社会・環境と健康	1	後期		2
		家族社会学	1	後期		2
		生命倫理学	1	前期	1	
		教育学	1	後期		2
社会保障論		1	後期	2		
哲学		1	前期		2	
芸術の世界		1	前期		2	
日本の歴史と文化		1	後期		2	
経営学の基礎	1	前期		2		
専門基礎科目	人体の構造と機能	解剖生理学Ⅰ	1	前期	2	
		解剖生理学Ⅱ	1	後期	2	
		解剖生理学Ⅲ	2	前期	2	
		微生物学	1	後期	2	
		生化学	1	後期	2	
		栄養学	2	前期	1	
		疾病の治療と回復促進	病理学	2	前期	2
	疾病・治療論Ⅰ		2	前期	2	
	疾病・治療論Ⅱ		2	前期	1	
	疾病・治療論Ⅲ		2	後期	1	
	老年疾病治療論		3	前期		1
	薬理学		2	後期	2	
	健康と生活支援	統計学	2	後期	2	
		疫学	2	後期	1	
		保健看護情報学(ICT)	3	前期	1	
		公衆衛生学	1	後期	1	
		保健医療福祉行政論	3	前期	2	
		臨床心理学	2	後期		1
カウンセリング		3	前期		1	
チームケア論		3	前期	1		
人権擁護と成年後見制度		3	前期		1	
医療経営論	4	前期		1		

基礎科目 22単位以上
 *必修16単位、選択6単位以上
 専門基礎科目 27単位
 専門科目 56単位
 専門科目(臨地実習) 23単位
 全ての選択科目(基礎科目以外) 2単位以上

科目区分		授業科目の名称	配当年次	期間	単位数		備考	
					必修	選択		
専門科目	基盤看護学	看護学原論Ⅰ	1	前期	2			
		看護学原論Ⅱ	4	前期	1			
		生活援助方法論	1	後期	2			
		生活援助方法演習	1	後期	2			
		診療援助方法論	2	前期	2			
		診療援助方法演習	2	前期	2			
		フィジカルアセスメント	2	後期	1			
		看護コミュニケーション論	1	後期	1			
		看護過程	2	前期	1			
		看護倫理	1	前期	1			
		地域・在宅看護学	地域・在宅看護学概論	1	後期	1		
			地域・在宅看護援助論Ⅰ	2	前期	1		
			地域・在宅看護援助論Ⅱ	2	後期	2		
			在宅・終末期看護援助論	3	後期		1	
			在宅・終末期看護技術論	4	前期		1	
			在宅・終末期看護演習	4	前期		1	
		看護教育・管理学	看護管理学	3	前期	1		
			看護教育論	4	後期		1	
			組織とリーダーシップ論	4	後期		1	
	発達看護学	小児看護学	小児看護学概論	2	前期	1		
			小児看護援助論Ⅰ	2	後期	1		
			小児看護援助論Ⅱ	3	前期	2		
			小児看護援助論	3	後期		1	
			小児看護技術論	4	前期		1	
			小児看護演習	4	前期		1	
		母性看護学	母性看護学概論	2	前期	1		
			母性看護援助論Ⅰ	2	後期	1		
			母性看護援助論Ⅱ	3	前期	2		
	成人・高齢者看護学	成人看護学	成人看護学概論	2	前期	1		
			成人看護援助論Ⅰ	2	後期	2		
			成人急性期看護援助論Ⅱ	3	前期	2		
			成人慢性期看護援助論Ⅱ	3	前期	2		
			がん看護援助論	3	後期		1	
			がん看護技術論	4	前期		1	
			がん看護演習	4	前期		1	
		高齢者看護学	高齢者看護学概論	2	前期	1		
			高齢者看護援助論Ⅰ	2	後期	1		
			高齢者看護援助論Ⅱ	3	前期	2		
			認知症看護援助論	3	後期		1	
			認知症看護技術論	4	前期		1	
認知症看護演習			4	前期		1		
広域看護学			地域看護学	公衆衛生看護学概論	2	前期	2	
	公衆衛生看護援助論Ⅰ	2		後期		2		
	公衆衛生看護援助論Ⅱ	3		前期		2		
	公衆衛生看護援助論Ⅲ	4		前期		2		
	公衆衛生看護援助論Ⅳ	4		後期		2		
	国際看護学	国際看護学Ⅰ	1	後期	2			
		国際看護学Ⅱ	2	前期	1			
		国際看護学Ⅲ	3	前期		2		
		国際看護学海外研修	2	前期		1		
	精神看護学	精神保健看護学概論	2	前期	1			
		精神看護援助論Ⅰ	2	後期	1			
		精神看護援助論Ⅱ	3	前期	2			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	期間	単位数		備考
				必修	選択	
専門科目	統合看護	生と死のケア演習	2	後期	1	
		災害看護学	3	前期	1	
		緩和ケア論	3	前期		1
		ストレスマネジメント論	3	前期		1
		痛みの看護論	3	前期		1
		看護研究原論	3	前期	1	
		ヘルスアセスメント	4	前期	1	
		統合講義	4	通年	2	
	看護研究	4	通年	2		
	臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	1	前期	1	
		基礎看護学実習Ⅱ	2	後期	2	
		地域・在宅看護学実習Ⅰ	1	後期	1	
		地域・在宅看護学実習Ⅱ	2	前期	1	
		地域・在宅看護学実習Ⅲ	4	前期	2	
		小児看護学実習	3	後期	2	
		母性看護学実習	3	後期	2	
		精神看護学実習	4	前期	2	
		成人看護学実習	3	後期	4	
		高齢者看護学実習	3	後期	4	
		公衆衛生看護学実習Ⅰ	4	前期		3
		公衆衛生看護学実習Ⅱ	4	後期		2
		統合実習	4	前期	2	